

活気ある社会づくりと日本語教育

地域活性化

新しい公共

国際化

コミュニケーション力

新しい発想

きずな
絆づくり

日時:2011年6月26日(日)13:00 - 17:00

会場:一橋大学西キャンパス兼松講堂



経済の若返り

観光立国

雇用創出

自己の再発見

多文化共生

ソフトパワー

外国人だけに役立つと思われてきた日本語教育は、じつは日本人や日本社会にとっても、身近で具体的な効果や長期的で広範な波及効果を生み出し、今まさに日本が必要とするものです。本シンポジウムでは、コミュニケーション論、言語学、文化人類学の専門家や経済人が論じ合う中で、そのことを浮き彫りにします。さらに、日本語教育政策の現状を踏まえ、長期的で包括的な視野に立った政策のあるべき姿について、この課題と真剣に向き合ってきた与野党の国会議員が議論を交わします。

■主催:日本語教育学会

■協賛:アスク出版,アルク,くろしお出版,スリーエーネットワーク,凡人社

■後援:文化庁,経済産業省(申請中),東京都(申請中),国際交流基金,国際文化フォーラム,国際日本語普及協会,中国残留孤児援護基金,言語系学会連合,異文化間教育学会,地域活性化学会,日本言語政策学会ほか

■企画:日本語教育学会
「日本語教育振興法法制化
ワーキンググループ」

■参加費:1,000円

参加方法:メール予約(先着600名)

受付期間:4月1日(金)~6月21日(火)

タイトルに「6.26参加希望」と入れ,お名前,ご所属を明記の上,webapply@nkg.or.jp までメールをお願いします。

■基調講演

平田 オリザ(劇作家・演出家,大阪大学)
「コミュニケーション力と日本語教育」

■パネルディスカッション

「活気ある社会づくりと日本語教育」

大津 由紀雄(慶應義塾大学)

陳 天璽(国立民族学博物館)

井上 洋(日本経済団体連合会社会広報本部)

コメンテータ:平田 オリザ(劇作家・演出家,大阪大学)

司会:野山 広(国立国語研究所)

■政策展望

「日本語教育政策の現状とあるべき姿」

中川 正春(前文部科学副大臣)

馳 浩(衆議院文部科学委員会自民党理事)

司会:今村 和宏(一橋大学)

●総合司会:嶋田 和子(イーストウエスト日本語学校)

問い合わせ先:(株)日本語教育学会事務局 Tel:03-3262-4291 Fax:03-5216-7552

★最新情報は <http://www.houseika2012.net/wordpress/> でご確認をお願いします。